

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 企業誘致の推進・工業の振興	B	<p>圏央道の県内区間全線が開通するなど、石岡・小美玉SICを活用して首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成され交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングや就職説明会を開催するなど、労働力の確保に努め、成果指標目標を概ね達成しました。</p>	<p>地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、誘致先の確保、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。</p>
2 商業の振興・中心市街地の活性化	B	<p>商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっており、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、石岡ステーションパークを活用した飲食店出店により、一定の成果を上げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。</p>	<p>情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。</p>
3 農林業の振興	B	<p>農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、魅力アップ、ブランドアップに期待が持てます。新規就農者支援については、市独自の研修制度などを活用し、担い手確保に取り組んでいます。また、農村環境の維持・保全のため、地域ぐるみでの取り組みを推進します。農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、生産効率の向上や耕作放棄地の解消に寄与しています。</p>	<p>高品質果樹のPRを継続するとともに、果樹生産の後継者確保・育成を行っていきます。また、農地の面的集約による生産効率の向上を促進し、儲かる農業を目指します。</p>
4 観光業の振興	B	<p>平成30年度に第2次石岡市観光振興計画を策定し、10年間の観光振興の方向性を決定しました。これまでの観光振興計画（後期計画）で定めた目標値1,500千人には達しませんでした。平成29年の入込客数は1,433千人となり、微減ながら概ね横ばいとなっています。</p>	<p>第2次石岡市観光振興計画に基づく官民一体となった事業展開に加え、令和3年度には、フラワーパークのリニューアルオープン等により、更なる誘客と地域経済の発展を図ります。</p>

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化，就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

B	総括評価
	圏央道の県内区間全線が開通するなど、石岡・小美玉SICを活用して首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成され交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングや就職説明会を開催するなど、労働力の確保に努め、成果指標目標を概ね達成しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、誘致先の確保、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。

2 主要事業の概要

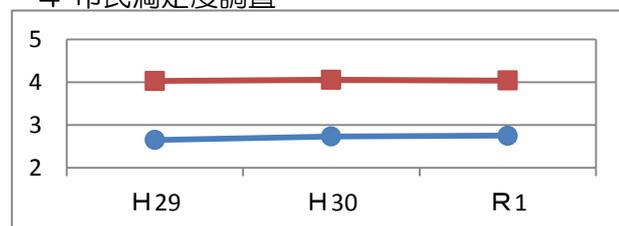
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	柏原工業団地を中心とした立地促進だけでなく、既存企業の事業拡大及び撤退抑止など、企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業【商工課】	目標には達していないものの、この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も、若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
新増設企業誘致数	既存企業の増設・新規企業誘致件数	数	1 (H28)	8	2
有効求人倍率	ハローワーク石岡管内における石岡市の有効求人倍率	-	0.71 (H28)	1.00	1.13
就職相談会、面接会の参加者数	企業の就職相談会及び面接会の参加人数	人	57 (H28)	120	61

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.65	4.03
平成30年度調査	2.73	4.06
令和元年度調査	2.75	4.04

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっており、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、石岡ステーションパークを活用した飲食店出店により、一定の成果を上げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。

2 主要事業の概要

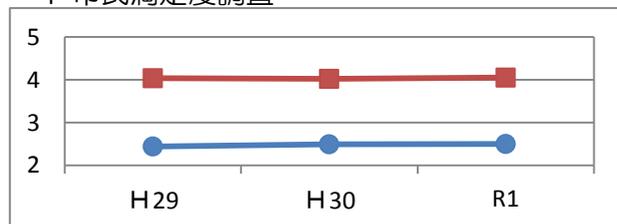
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中心市街地活性化事業補助金【商工課】	中心市街地活性化基本計画（第2期）の中で、見直しが必要な事業については、事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また、新規事業として、これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして、これらの事業計画により、1コンパクトな都市機能づくり、2住み続けられるまちづくり、3賑わいの導線づくり、4商業振興と地域資源みがき、5まちなか観光の推進の実現に向けた事業に取り組んでいきます。
商工振興事業【商工課】	関係団体等と協力し、魅力ある商店街の創出を検討し、交流人口の拡大を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	3,985 (H28)	4,880	3,861
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	2,283 (H28)	2,800	1,896
空き店舗等活用支援事業費補助金認定件数	空き店舗等活用支援事業費補助金の店舗改修費認定件数（累計）	件	11 (H29)	16	11
創業者件数（累計）	創業支援事業計画の目標数値	件	4 (H28)	10	4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.44	4.03
平成30年度調査	2.49	4.02
令和元年度調査	2.50	4.05

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援，鳥獣被害総合対策

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、魅力アップ、ブランドアップに期待が持てます。新規就農者支援については、市独自の研修制度などを活用し、担い手確保に取り組んでいます。また、農村環境の維持・保全のため、地域ぐるみでの取り組みを推進します。農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、生産効率の向上や耕作放棄地の解消に寄与しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	高品質果樹のPRを継続するとともに、果樹生産の後継者確保・育成を行っていきます。また、農地の面的集約による生産効率の向上を促進し、儲かる農業を目指します。

2 主要事業の概要

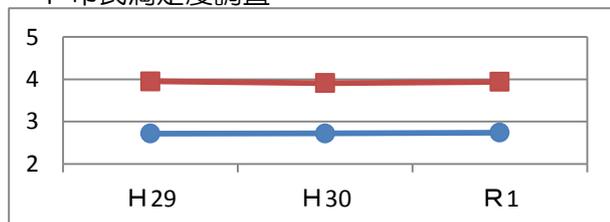
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新規就農者支援対策経費【農政課・農業委員会事務局】	これまで以上に積極的なPR活動を展開し、新たな就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）、朝日里山ファームの研修システムを活用して支援してまいります
農力アップ推進事業【農政課】	県外において局地的なPRを実施しており、一定の「知名度アップ」は図られていると考えられる。今後は、「魅力アップ」、「ブランドアップ」に注力し、継続した事業の運営が必要とされる。
多面的機能支払交付金事業	農村環境の維持・保全のため活用すると共に、地域ぐるみの取組みを推進します。
農地中間管理事業【農政課】	農家・担い手に対する働きかけを継続し、事業の拡大を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
新規就農（林）者数	市内で新たに自営農業就農者等になった人の累計人数(H20以降)	人	78 (H28)	130	102
直売売上額	直売による売上額	百万円	1,100 (H28)	1,220	1,103
多面的機能支払交付金事業活動組織数	多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織数	組織	32 (H29)	36	34
農地中間管理機構への貸付農地面積	農地中間管理機構へ貸し付けられた農地の累計面積(H27以降)	ha	80 (H29)	120	126

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.71	3.95
平成30年度調査	2.72	3.91
令和元年度調査	2.74	3.94

令和元年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	平成30年度に第2次石岡市観光振興計画を策定し、10年間の観光振興の方向性を決定しました。 これまでの観光振興計画（後期計画）で定めた目標値1,500千人には達しませんでした。平成29年の入込客数は1,433千人となり、微減ながら概ね横ばいとなっています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	第2次石岡市観光振興計画に基づく官民一体となった事業展開に加え、令和3年度には、フラワーパークのリニューアルオープン等により、更なる誘客と地域経済の発展を図ります。

2 主要事業の概要

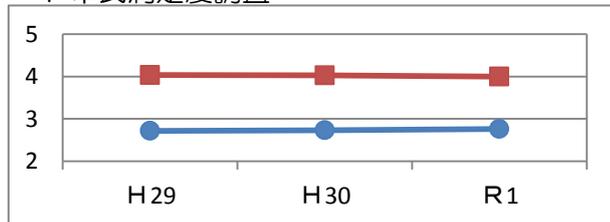
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
観光対策経費【観光課】	観光客の満足度向上を図るため、魅力ある観光地域づくりを推進するとともに、戦略的な情報発信を進めていきます。また、持続可能な観光産業を育成するための施策を実施していきます。
筑波山地域ジオパーク推進事業【観光課】	筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ、他の観光事業とも連携した新たな取組を進める必要があります。
都市交流推進事業【政策企画課】	東京圏への情報発信を積極的に実施し、移住及び二地域間居住の取り組みを推進することができています。また、交流がある都市からのスポーツ合宿が実施されるなど、都市交流の成果が見られます。 今後の方向性について、交流促進事業の参加人数増加を目指し、近隣市や県と連携した取組を継続するとともに、効果的な情報発信をしていくことが必要となります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H30 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	1,475,600 (H28)	1,700,000	1,433,000 (H29実績)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.72	4.03
平成30年度調査	2.73	4.03
令和元年度調査	2.76	4.00